



こまくさ

令和2年
8月28日(金)
No.20

《教育目標》～夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!～

アルミ缶回収・環境整備作業へのご協力 ありがとうございました

8月23日(日)は、早朝より小・中アルミ缶回収、そして9時からは小学校PTA生活環境部事業の環境整備作業にたくさんのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。この日は朝から気温が上がり、作業をするのも大変だったことと思います。

窓拭き、その他の清掃、草刈り作業等は、子どもたちの清掃活動ではできないことで、どうしても大人の手が必要となります。今回、環境整備作業をしていただいたおかげで、日頃手をかけることができない多くの場所の汚れがとれ、また、雨が降る度に伸びてくる雑草も短くなり、校内外とも大変きれいすることができました。今回は子どもたちもたくさんお手伝いに来てくれて、総勢150名を超す方々に協力していただきました。多くの方々の力をお借りすることで、あっという間に学校がきれいになりました。ありがとうございました。

また、地区ごとに集めていただいたアルミ缶は、換金した後小中学校で折半し、それぞれの教育活動に役立てさせていただきます。大変暑い中ご協力をいただき本当にありがとうございました。



各地区のアルミ缶を運んで来てくれました



回収袋には応援メッセージも!



いつもの清掃ではできない場所も…



外では交通公園の草刈りもしてくれました



古歯ブラシをもってきてサッシの汚れまでも…



お手伝いに来た子どもたちもがんばってくれました

★小学校では、一年を通して次のものを回収しております。こちらの方へもご協力をお願いします。

(プール横の小屋へ)

- アルミ缶
- 古新聞 (広告入りも可)
- ダンボール (紐でしばって)
- 古雑誌・古紙類 (紐でしばって)
- インクカードリッジ

課外活動の活躍

ソフトテニスの活躍

8月23日(日)に大仙市総合公園テニスコートで、秋田県小学生秋季ソフトテニス大会が行われ、本校の5年加藤悠愛さんが好成績を収めました。おめでとうございます。



賞状をもって報告に来てくれたK.Hさん

【成績】

男子5年生の部
第3位 仙北市ジュニア
K.Hさん
S.Aさん ペア
(西明寺小)

裏面に、文部科学大臣より「新型コロナウイルス感染症に関するメッセージ」が届きましたので、載せておきます。

田沢湖イーグルス 優勝!

8月22日・23日に西明寺小学校野球場で第18回東北学童軟式野球新人仙北市予選大会が開かれ、5年生を中心とした田沢湖イーグルスが見事優勝しました。

9月12日(土)に横手市で行われる全県大会に出場することになっています。

さらに上をめざしてがんばってほしいと思います。

5年キャプテン C.Hさん にインタビュー

自分は試合の途中で怪我をしてしまいました。自分がない時もチームのみんなががんばってくれたおかげで優勝できてよかったと思います。自分が怪我をしてしまったのがとてもくやしかったので、全県大会では全員の力を合わせてがんばりたいと思います。キャプテンになりましたが、まだみんなを上手くまとめられていないと思います。だからもっともっとチームをまとめていけるようにがんばりたいと思います。



優勝報告に来てくれた5年生のメンバー

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一